

コース49 こえどかわこえしちぶくじんめぐり 小江戸川越七福神巡り

リーダー CL N/S SL E/S
 実施日 令和2年1月7日(火)
 天候 曇り グレード A上
 参加者 25人(男性 2 女性23)
 コースポイント



| ポイント | 到着時間 | 出発時間 | 備考 |
|------------|-------|-------|------------------------|
| 秋葉区役所前 | | 6:10 | 10分遅れで出発。新津駅西口5人乗車 |
| 妙善寺(毘沙門天) | 10:10 | 10:24 | 2班に分かれスタート。いきなりの行列 |
| 天然寺(寿老人) | 10:50 | 10:56 | ご利益は多岐だが、長寿の神 |
| 喜多院(大黒天) | 11:23 | 12:15 | 隣接する仙波東照宮境内で昼食と記念撮影 |
| 成田山(恵比寿天) | 12:16 | 12:20 | 福の神の代表で鯛が釣れるように祈願 |
| 蓮馨寺(福祿寿神) | 12:23 | 12:26 | 高年になると延寿福楽の益を得たい |
| 妙昌寺(弁財天) | 13:00 | 13:10 | 七福神唯一の女神だがお姿が見えず |
| 見立寺(布袋尊) | 13:25 | 13:38 | 大腹と大袋。お姿は両腕を上げバンザイ |
| 菓子屋横町 | 13:39 | 13:55 | 昔懐かしい駄菓子を楽しんで買物 |
| 蔵造の町並み・時の鐘 | 14:05 | 14:35 | 江戸時代の面影を残す町並みを見学 |
| 川越市役所P | 14:50 | 15:00 | 時間通り。皆さん約6.1kmを16,000歩 |
| 秋葉区役所前 | 19:30 | | 無事に帰着。新津駅西口へ |

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 新年は城下町のただづまいを残す小江戸と言われる川越の七福神で福を得ようと企画した。
- ・ 縁日の喜多院では多くの露店が並び、菓子屋横町そして蔵造の町は大勢の人で賑わっていた。
- ・ 目的は七福神巡りではあるが、ガ



イドの方の説明から分かったことは、江戸時代の川越藩の城下町で栄え、歴史的建造物が多く残っていて、まさしく現在は観光都市になっていることに感銘した。

・ みなさまにいっぱい福が来ますように！！

「小江戸川越・七福神巡り」に参加して

834 Y/S

お天気は夕方まで降らないようだ。傘は持たずに区役所 6 時過ぎ出発。高速道路を乗り継ぎ車窓から雪景色が見え始める。新津は今季全然降らないので。何か新鮮な気持ちになる。

川越に 10 時頃到着。七福神巡りのはじまりだ。

妙善寺の毘沙門天・天然寺の寿老人・喜多院の大黒天・成田山の恵比寿天・連馨寺（れんけいじ）の福祿寿神・妙昌寺の弁財天・見立寺の布袋尊を次々とお参りする。

印象に残ったのは第一番毘沙門天のお参りの時、凄い行列で時間がかかり先が思やられる。

それ以後はそれほどの混雑でなかったが。喜多院をお参りする。ここ仙波東照宮は日光・久能山につぐ日本三大東照宮と知る。何度も火災に会いその都度再建され、再建のつと燈籠も建てられた。その中には江戸時代のももあるそうだ。鐘撞堂は当初からのもので、今でも除夜の鐘を町の人が行列をしてつきに来るとか。立派な葵の門が家康を偲ばせる。家光の乳母のお福（春日局）の部屋を江戸から移築されているというので楽しみにしていたが、見られず残念であった。（あの日は休みだったようだ）境内のお団子屋さんの店先のテーブルを借りお昼ご飯。ガイドさんがお団子を差し入れてくれる。おでんを注文した人もいた。

布袋尊では万歳をした珍しい布袋尊の仏像だった。弁財天は八つの手がある珍しい形だそうだが分からなかった。2 班に分かれてのガイドつきで色々説明があり良かったし、



妙善寺の毘沙門天は行列



天然寺の寿老人



天然寺の水琴窟



仙波東照宮



仙波東照宮元禄建立の鳥居



仙波東照宮境内で昼食



縁日の喜多院境内



喜多院の大黒天



成田山川越別院の恵比寿天



新年早々の七福神のお参りで今年は福が舞い降りてきそうだ。次は菓子屋横丁です。駄菓子屋さんが連なり、川越はさつま芋の産地だけあってさつま芋の駄菓子が色々あった。小豆とさつま芋を米粉で包んだ 百八十円の熱々のお饅頭を皆で買って食べる。

その先は川越の象徴の【時の鐘】です。趣のある形でそびえている。そこで記念撮影。今でも一日に何度か時を告げているそうだ。

どんな音色なのだろうか？その一帯は江戸情緒あふれる蔵や古い家並が両側に続く。着物を着た若い娘さんが町並みに似合っている。こんなに賑わうようになったのも若者が町おこしで立ち上がったお陰だそうだ。市役所でガイドさんとお別れ。見送ってくれたガイドさんが乱れることなく余裕を持って歩いてくれたと褒めていました。

帰路スキ-場のナイターの明かりがみえもう少し降れば良いのにと他人事ながら心配になる。

川越は家康が江戸にお城を築いてから江戸の重臣達が治めた歴史ある街で前からずうっと頭にあった町でした。期待にたがわず勉強になったし楽しめた旅でした。

リーダー・サブリーダー・参加された皆様ありがとうございました。

サブリーダーのブログ

[「ウズラの里山日記」川越七福神巡り](#)



連馨寺の福祿寿神



妙昌寺の弁財天



見立寺の布袋尊



菓子屋横町



蔵造りの町並み



「時の鐘」で A 班のみなさん

七福神めぐり



元旦～7日及び毎月1日は七福神のご縁日です
 受付時間 午前9時～午後4時
 (法要等により受付できないこともあります)



川越市シルバー人材センターの
 観光ガイド2名の方に
 お世話になりました。

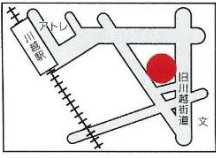


第一番

女
秋の七草
郎花



威光



毘沙門天
BISHAMONTEN



道人山妙善寺と号し天台宗に属します。開山尊能法印が寛永元年に建立、堂宇は天明8年の火災によって焼失、昭和53年に再建しました。本尊は不動明王で智証大師（門診814-891、55歳の時天台座主）の作、脇に阿彌陀如来を安置しています。

毘沙門天（梵名ベイスラマナ）は、仏教の守護神で多聞とも呼ばれています。よろい、かぶとに身を包み左手に持っている宝塔より無量の宝物を衆生に与えて福德を授け、右手の鉾は邪を払い魔を降す徳を示します。心には勇気決断、くらしには財という、物心ともどもの福を施す神であります。

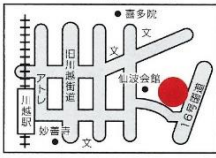
妙善寺 MYŌZENJI TEMPLE
川越市菅原町9-6 ☎222-7559

第二番

枯
秋の七草
梗



寿命



寿老人
JUROJIN



自然山大日院と号し、本尊大日如来（金剛界）を安置、慈覚大師草創の地と伝えられておりますが、天文23年（1554）9月開山栄海上人によって創建されました。境内には願掛観音像、六地藏尊があります。

寿老人は、中国の神様で、老人星の化身、福祿寿と団体異名であるとも言われ、そのお姿は多様であります。当寺の寿老人は、彦根智教寺に安置されていたもので、長頭、長髯、右手に杖を持ち、左手に長寿のしるしの桃を持っています。富財、子宝、諸病平癒とそこご利益は多岐にわたっておりますが、なんとと言っても長寿の神として信仰されております。

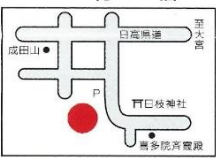
天然寺 TENNENJI TEMPLE
川越市仙波町4-10-10 ☎222-6151

第三番

萩
秋の七草



有福



大黒天
DAIKOKUTEN



淳和天皇の勅で天長7年（830）慈覚大師の創建。寛永15年（1638）川越大火で焼けた後、將軍家光公が江戸城の別邸を移築し、その他諸堂を再建しました。すべて文化財で拝観ができます（1月8日まで休み）毎日厄除などの護摩修法も行われています。

大黒天は古代インドの閻魔の神で、仏教での戦闘神です。平安以後食を司る台所の神と崇められました。又日本の神大国主命を大黒と混同させ、命の御神徳を合せ、糧食財宝が授かる神として信仰を得ました。くら（黒）くなつてまめ（魔滅）に働いて大黒天を拝むと大福利益が得られます。

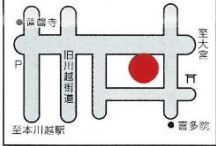
喜多院 KITAIN TEMPLE
川越市小仙波町1-20-1 ☎222-0859

第四番

撫
秋の七草
子



清廉



恵比須天
EBISUTEN



大本山成田山新勝寺の別院で、真言宗密教の寺院であります。本尊は不動明王。交通安全祈願で広く知られ、亀のいるお不動様としても親しまれています。恵比須様は「福の神」の代表。鯛を抱いた福々しい相好はなじみの深いものであります。

恵比須の名は、外人を意味するエビスの言葉と同一で、本来は異国から来留して人々に幸福をもたらすと信じられた神であります。漁村では海の神、農村では田の神、山村では山の神、都市では市神、福利を招く神として、商人からも深い信仰が寄せられています。

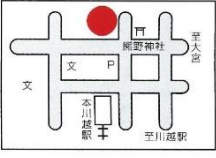
成田山 NARITASAN TEMPLE
川越市久保町9-2 ☎222-0173

第五番

尾
秋の七草
花



人望



福祿寿神
FUKUROKUJUJIN



子育脊龍上人で親しまれている当山は、戦国の昔、川越城將大道寺駿河守正繁侯が母堂蓮馨大師の御為に建立されたお寺で、開山は感誓存貞上人、徳川時代には浄土宗関東十八檀林（坊さんの大学）の一つであります。

福祿寿神とは、幸福、高祿、長寿の三徳を具えて、これを人に与え、方位除災、商売繁昌、延寿福楽等のご利益を現される方ですが当山の尊像は右手に靈芝、左手に神亀を持たれ、癌や脳卒中を早く治しなさい、そうすれば、福祿寿が得られますと教えています。

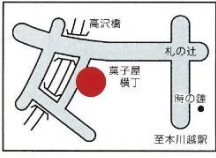
蓮馨寺 RENKEIJI TEMPLE
川越市蓮雀町7-1 ☎222-0043

第六番

藁
秋の七草



大量



布袋尊
HOTEISON



寿昌山了心院と号し、浄土宗に属します。永祿元年（1558）、小田原北条氏の重臣で川越の城將大道寺正政繁侯が、感誓存貞上人を請じて開山されました。堂前のつけの古木の下に、徳本行者の名号碑と古誌に記されている石灯籠があります。現本堂は、明治14年建立のものです。

布袋尊は中国唐代の禪僧で名は契此。小柄で太鼓腹、大きな袋を担って各地を流浪し、吉凶を占い、福を施して徳むことがなかったといひます。又、未来仏たる弥勒菩薩の化身ともいわれ、昔から崇められてきました。

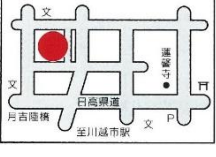
見立寺 KENRYŪJI TEMPLE
川越市元町2-9-11 ☎222-3321

第七番

藤
秋の七草
袴



愛敬



弁財天
BENZAITEN



永和元年池上本門寺第四世日山上人が開創し、諸堂は、今の幸町周辺にあったが、江戸時代城下町整備により、現在地に移ったものです。当山の弁天さまは、遠く室町時代に時の地頭が、経文を小石に書き写し塚を築いて、社を建てたもので、のちに川越城築城に際し、城の裏鬼門にあたるところから太田道灌公も特に尊崇厚かったと伝えられています。

弁天さまは、七福神唯一の女神で、弁舌、芸術、財福、延寿を授ける神として、古くから、商人や芸人など中広い人々の信仰を集めており、運を開き、福を招く女神です。

妙昌寺 MYŌSHŌJI TEMPLE
川越市三光町29 ☎222-2414

毎月1日は七福神のご縁日です 各寺院には下記のような七福神絵馬の御分体と、
受付時間 午前9時～午後4時 宝船、川越時の鐘をかたどった色紙があります。
(法要等により受付できないこともあります) お参りの際に集めてまわるのも楽しいでしょう。

七福神絵馬



色紙



絵馬 各福神絵馬、お守り、おまもり、おまもり、おまもり、おまもり、おまもり、おまもり